

2015年12月5日

社会運動ユニオニズム研究会

地域労働運動の戦後史

東京東部・江戸川地域労働運動の歴史

小畑精武

1、戦前の地域共闘

1930年 東洋モスリンの「市街戦」(亀戸)

葛飾汽船(江戸川)の争議(1930年)

2、戦後労働組合の組織化(雨後の竹の子)

2・1ストライキと地区労の誕生 墨田、江東、

民間共闘+官公労共闘 ⇒ 江戸川区労働組合協議会結成(20労組、1952年)

3、高度成長期 60年代

総評「中小組織化」全国一般(東部一般1000人)、全国金属(日本ロール)

「1万円以下をなくす」地域最賃闘争(区議会決議)(1961年)

区役所臨時賃金の改善、中小企業での協定

青年労働者の行動力 「パトカーより早く」

区労協事務所建設(1961年)「無から有を産む」

4、江戸川地区労働運動の拡大(社会的代表+地域交渉力) 70年代

区長準公選条例運動「区長は区民の手で」(68,393筆、1972年)→自治法改正

中小労組の組合結成(金属機械、運輸、地場スーパー)

「俺たちはごみじゃない」産別+地区労の運動「遠くの親戚より、近くの・・・」

パート110番、労働・生活相談 → 地区労加盟ミニ組合結成

地区労会費・財政確立 物品販売「動く領収書」

オルグ2人制 85労組、17,000人

「ロマンに生きる—区労協30年史」(1982年)

中小(ユニオン)基盤に区議選32歳候補勝利(1982年)

江戸川ユニオンの結成(1984年)「地域を職場とする労働者の組合」

「ふれ愛、友愛、たすけ愛」「誰でも、一人でも入れる」

「みんなは一人のために、一人はみんなのために」

春闘バザール(1988年)「賃上げは地元へ」

*東京東部7地区労ブロック「一人の首切りも許さない」地域の闘争・交渉力

70年代 地域労働運動を強める全国集会(総評主催)→ユニオン全国ネットへ

九州大分県労評の地域闘争 佐伯造船闘争支援(1977年)

再び許すな!東京大空襲・下町反戦平和の集い、路地裏平和行進(1982年)

「江戸川原爆犠牲者追悼碑」「世代を結ぶ平和の像」

江戸川地域労働運動

社会・政治

選挙 区議選→(区長準公選条例運動)→区長選(政策協定)⇒区労協事務所

衆議院、参議院選

都議選、都知事選(勤労福祉会館)(保育園、福祉政策)

労働・福祉政策の拡充

反戦平和 親江会(被爆者団体)と協力 ⇒ 原爆犠牲者追悼碑建設

原発再稼働反対

原水禁大会

再び許すな!東京大空襲下町反戦平和の集い・路地裏行進

戦争法案反対

世代を結ぶ平和の像建立(1995年)

沖縄辺野古基地建設反対

「職住近接のまちづくり」→(売上税反対)→

江戸川地区労センター(92~)

(地域的代表性)

全国地区労交流集会

商店連合会との連帯

春闘バザール(1988~)(賃上げは地域に還元を)

公害反対・環境守る

地域

江戸川区労働組合協議会

全国

(1952~1992) 85組合、17,000

総評 連合

職場

地域最低賃金闘争 (区議会決議・61年)

「1万円以下をなくす・地域最賃闘争」

最賃闘争

春闘

公契約条例運動 (市民のために働く人が貧困であってはならない)

公契約基本法の制定

反合・争議支援共闘 (ひとりの首切りも許さない)

東部七地区労、東部ブロック共闘、東京地評
産別型争議+強力な地域共闘

一人の労働相談にも対応できる力

労働法制

組織化・組織強化、(職場に組合を!)

60年~中小組織化(全国一般<東部一般>、全金)

70年代 運輸、清掃下請労働者(俺たちはごみじゃない)

区労協組織・財政の強化(オルグ二人配置)

江戸川春闘共闘 労働金庫江戸川支店

コミュニティ・ユニオン全国ネットワーク

労働・生活相談 地区労単独ミニ組合 → ユニオンの構想

「勤労区民アンケート」(81) → 「組合に入りたい」

全国労金、全労済、労福協

労働相談活動

地域的交渉力・組織力

江戸川ユニオン 1984年~

「誰でも一人でも入れるユニオン」

「みんなは一人のために、一人はみんなのために」

労働・個人